

令和2年度一般会計第2次補正予算 賛成討論

只今、上程されました 第47議案 令和2年度一般会計第2次補正予算に対し
公明党議員団の立場で賛成討論を行います。

はじめに、安全安心な区民生活を守るために、日々、懸命に働き続けてくださっている職員
の皆様、区民の命と健康を守るために尽力頂いている保健所職員の皆様、そして、PCR検
査センターにご協力いただいている中野区医師会の先生方に、心より敬意を表し、感謝申し
上げるものです。

また、臨時会を待たず、予備費を充当し、PCR検査センターの設置、在宅軽症者・待機者
生活支援等、最前線の現場を支える対策に、最優先に取り組まれたことは評価するものです。

補正額は歳入・歳出ともに、354億2811万4千円、補正後の令和2年度歳入歳出予算
額は、1823億9509万6千円で、過去最大規模になります。

特に、歳入では、特別定額給付金給付事業・子育て世帯臨時特別給付金等の国庫支出金は、
347億2135万9千円で、補正前を上回る額となっています。

特別定額給付金は、全国民を対象に1人あたり10万円の給付をするもので、日々の生活を
支えるために多くの区民に切望されています。

一日も早く、区民の皆様の手元に給付金が行き渡るように、丁寧で速やかに手続きが進めら
れることを期待しています。

次に、わが会派が重要性を訴えてきた、児童・生徒の学力と心身における健康を保つための
インターネットによる連絡・自宅学習の環境整備に係る経費の増額について、高く評価しま
す。全ての児童・生徒が、学校に行かれず、友だちにも会えず、不安と不満を抱え、辛い生
活を余儀なくされています。遅滞なく、整備を進めるとともに、教育委員会は心を砕き、知
恵を絞り、子どもたちのために力を尽くしていただきたいと要望しておきます。

また、妊婦の新型コロナウイルス感染を防ぐための育児パッケージの配布についても、全て
の妊婦に行き届くように細やかな対応を望みます。

さらに、区は5億4882万8千円を財政調整基金より繰入れ、独自事業である区立小・中
学校休業中の昼食費支援、経営・融資相談窓口業務拡充、びん・缶回収事業者緊急対策費な
どの予算を拡充しました。

昼食費支援については、対象者を限定し、支援策を明確にしたことは、賢明な判断であると
評価しています。

しかし、緊急事態宣言が延長されれば、さらに区民生活が疲弊する懸念があり、今後も補正予算等により迅速に対応する事も検討していかなくてはなりません。

区は「見直すべきものは見直し、歳出の抑制に努めるとともに、歳入の確保にも今まで以上に努めていく必要がある」と、考え方を示しています。直ちに、事業見直しに着手し、財政基盤を構築する覚悟を持って、予算執行に臨んでいただくことを強く求めます。

誰もが経験したことのない国難ともいえるこの事態を今こそ区と区議会が一丸となって協力し乗り越えていく時であると申し上げ、賛成討論と致します。